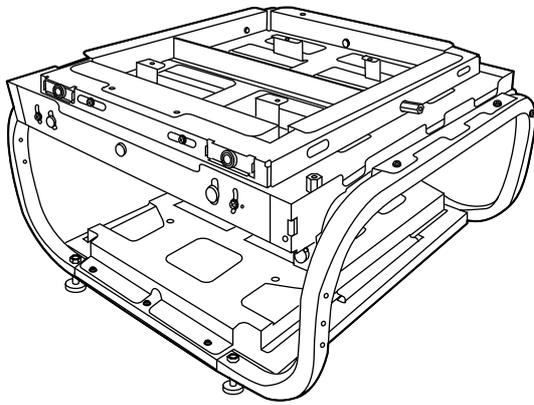


液晶プロジェクター用デュアル金具

取扱説明書

設置・調整説明付き

品番 **TY-DFL6500**



もくじ

安全上のご注意	2
本機の構成	3
設置完成図	3
各部の名前	3
投写距離について	4
プロジェクターの取り付けかた	5
1. 下側プロジェクターの取り付け	5
2. 上側プロジェクターの取り付け	6
プロジェクターの調整のしかた	8
1. 下側プロジェクターの調整	8
2. 上側プロジェクターの調整	8
反転設置のしかた	10
端子カバー用ねじ穴について	11
外形寸法図	裏表紙
仕様	裏表紙

このたびは、パナソニック 液晶プロジェクター用デュアル金具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この説明書をよくお読みのうえ、専門技術者が取り付け・設置を行ってください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」内容です。

■ お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

■ 取り付け・設置作業は必ず専門の技術者に依頼する



工事の不備によりけがの原因となります。

■ 強度の不足する場所に取り付けない



禁止

安全係数を配慮し、強度の不足する場合は十分な補強を行ない、安全上問題のない場所に設置してください。

注意

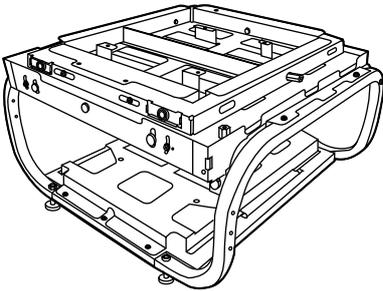
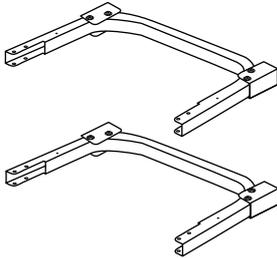
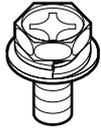
■ 取り付け・設置作業は2人以上で行う



本機は、液晶プロジェクターを含めると約 54 kg（反転設置状態では約 58 kg）になります。取り付け・設置作業は2人以上で行なってください。

本機の構成

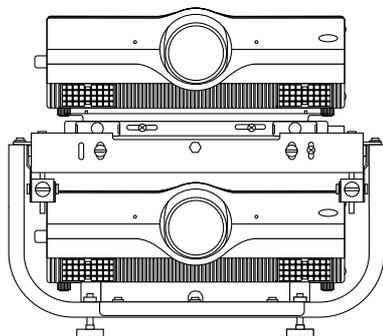
本機は下図部品で構成されています。組み立て前に確認してください。

<p>本体部 1台</p> 	<p>反転設置用アーム金具 2本</p> 	<p>座金組み込みねじ (M4 × 10) 16本</p> 
		<p>座金組み込み六角ボルト (M6 × 16) 10本</p> 

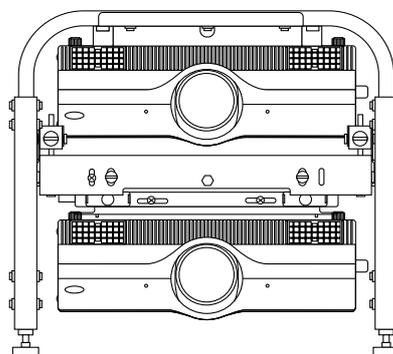
設置完成図

本機は、液晶プロジェクターをデュアル（2台）仕様（高輝度投写が可能）にするための設置金具です。通常設置と反転設置の方法で使用することができます。

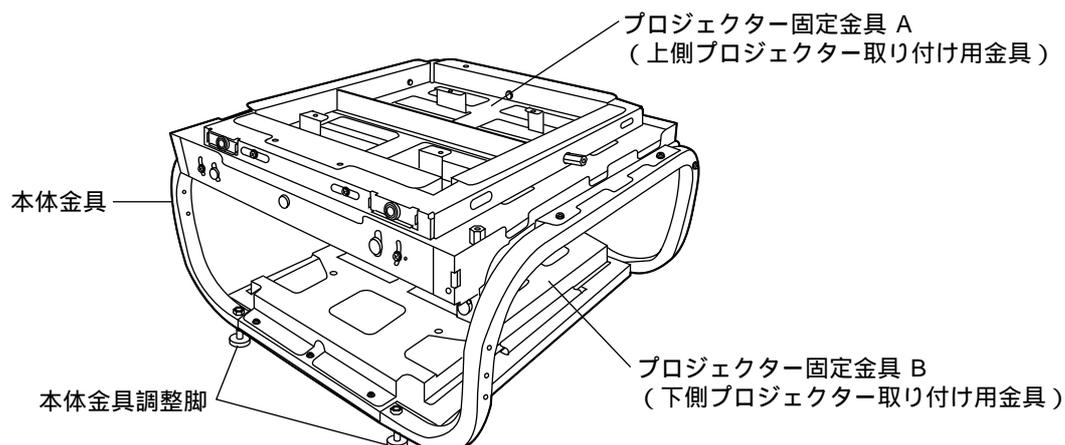
通常設置完成図



反転設置完成図



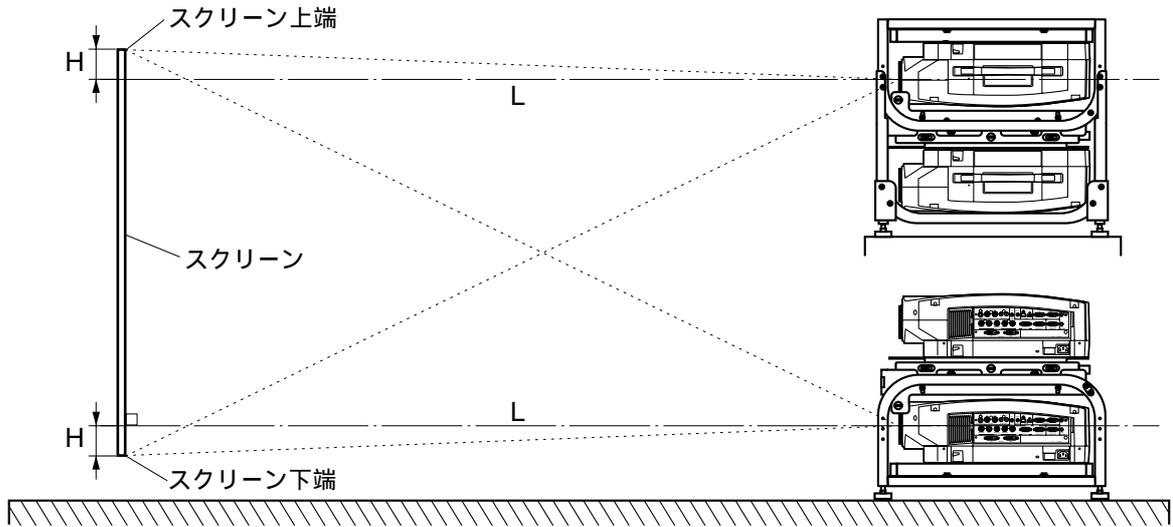
各部の名前



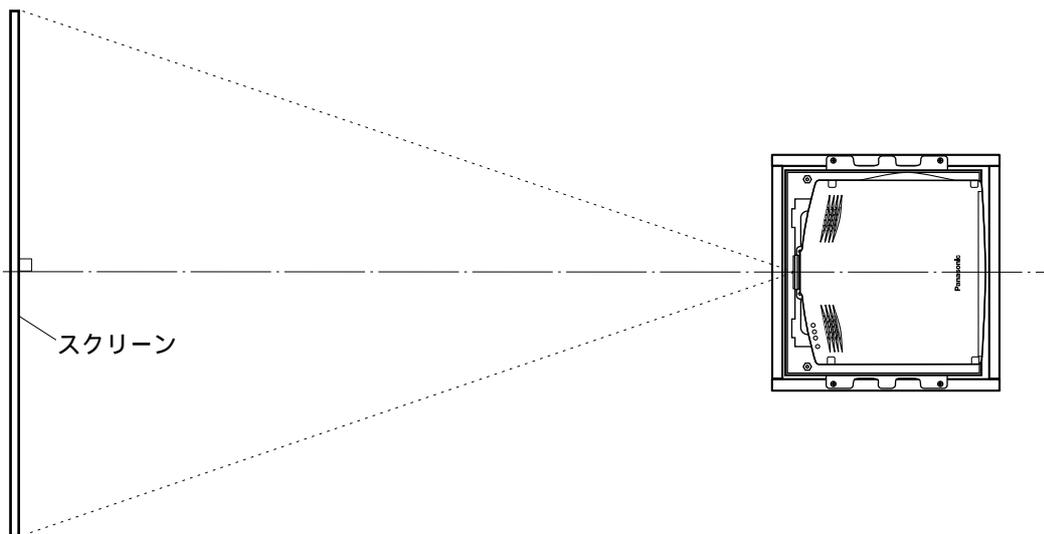
投写距離について

画面サイズによって投写距離が変わります。下図・下表を参照のうえ、設置位置を決めてください。

横から見たとき



真上から見たとき



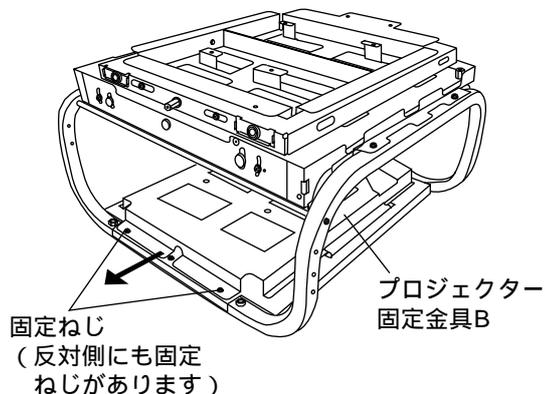
投写画面 サイズ(型)	設置可能な高さ範囲: H [スクリーン端~ 下側プロジェクター のレンズセンター]	投写距離: L			
		TH-L6500J TH-L6600J	TH-L6500JL TH-L6600JL		
			短焦点ズームレンズ (TY-LE101) 装着時	中焦点ズームレンズ (TY-LE200) 装着時	長焦点ズームレンズ (TY-LE300) 装着時
100	約 0.08 ~ 0.76 m	約 3.6 ~ 約 4.9 m	約 2.7 ~ 約 3.6 m	約 5.4 ~ 約 8.7 m	約 8.9 ~ 約 11.8 m
120	約 0.09 ~ 0.91 m	約 4.3 ~ 約 5.9 m	約 3.3 ~ 約 4.3 m	約 6.5 ~ 約 10.5 m	約 10.7 ~ 約 14.2 m
140	約 0.11 ~ 1.06 m	約 5.1 ~ 約 6.9 m	約 3.9 ~ 約 5.1 m	約 7.5 ~ 約 12.3 m	約 12.5 ~ 約 16.6 m
160	約 0.12 ~ 1.21 m	約 5.8 ~ 約 7.9 m	約 4.4 ~ 約 5.8 m	約 8.6 ~ 約 14.1 m	約 14.3 ~ 約 18.9 m
180	約 0.14 ~ 1.37 m	約 6.6 ~ 約 8.9 m	約 5.0 ~ 約 6.6 m	約 9.7 ~ 約 15.9 m	約 16.1 ~ 約 21.3 m
200	約 0.15 ~ 1.52 m	約 7.3 ~ 約 9.9 m	約 5.6 ~ 約 7.3 m	約 10.9 ~ 約 17.7 m	約 17.8 ~ 約 23.6 m
220	約 0.17 ~ 1.67 m	約 8.1 ~ 約 10.9 m	約 6.1 ~ 約 8.1 m	約 11.9 ~ 約 19.5 m	約 19.6 ~ 約 26.0 m
240	約 0.18 ~ 1.82 m	約 8.8 ~ 約 11.9 m	約 6.7 ~ 約 8.8 m	約 13.0 ~ 約 21.3 m	約 21.4 ~ 約 28.3 m
260	約 0.20 ~ 1.98 m	約 9.5 ~ 約 12.9 m	約 7.3 ~ 約 9.5 m	約 14.1 ~ 約 23.1 m	約 23.1 ~ 約 30.7 m
280	約 0.21 ~ 2.13 m	約 10.3 ~ 約 13.9 m	約 7.8 ~ 約 10.3 m	約 15.2 ~ 約 24.9 m	約 24.9 ~ 約 33.1 m
300	約 0.23 ~ 2.28 m	約 11.0 ~ 約 14.9 m	約 8.4 ~ 約 11.0 m	約 16.3 ~ 約 26.7 m	約 26.7 ~ 約 35.4 m

反転設置の場合は、上側プロジェクターとなります。

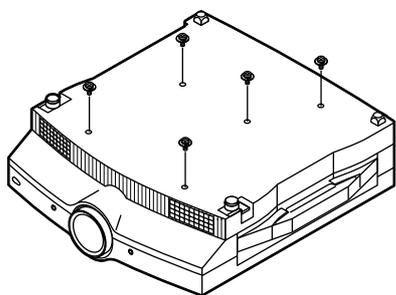
プロジェクターの取り付けかた

下側プロジェクターから先に取り付けを行ってください。

1. 下側プロジェクターの取り付け

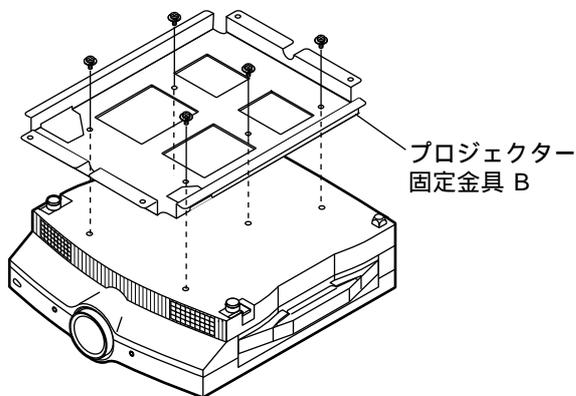


プロジェクター固定金具 B の固定ねじ (4 本) をはずし、スライドさせて矢印方向に引き出す。

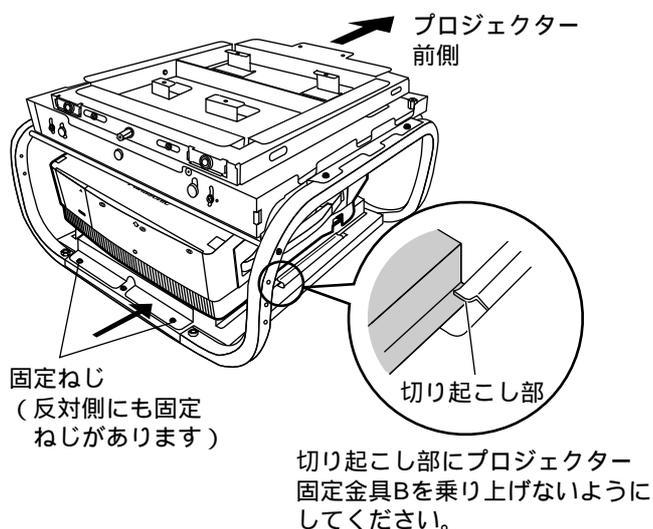


柔らかい布などの上に液晶プロジェクターの底面を上向きにして置き、座金組み込みねじ 5 本を取りはずす。

お願い 取りはずした座金組み込みねじは大切に保管していただき、元の仕様に戻すときは液晶プロジェクターへ取り付けてください。



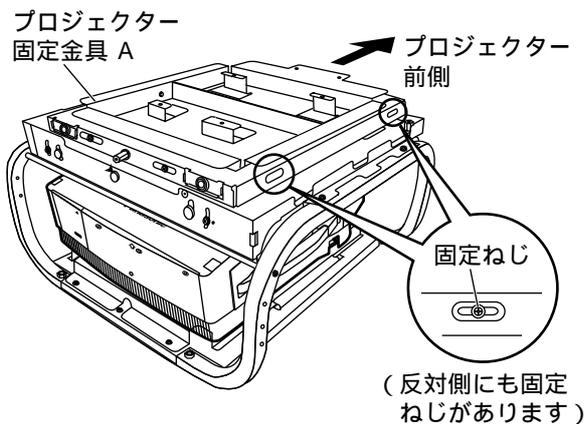
液晶プロジェクター底面にプロジェクター固定金具 B を図のように置き、付属の座金組み込み六角ボルト (M6 x 12) 5 本で固定する。



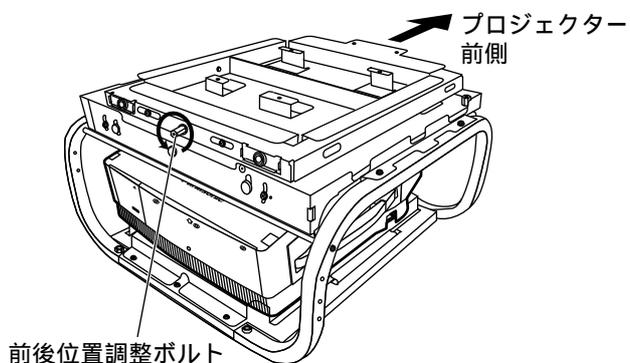
液晶プロジェクターを取り付けたプロジェクター固定金具 B を、 と逆の手順で本体金具の切り起こし部に挿入し、スライドさせて押し込む。

手順 で取りはずしたプロジェクター固定金具 B の固定ねじ (4 本) で固定する。

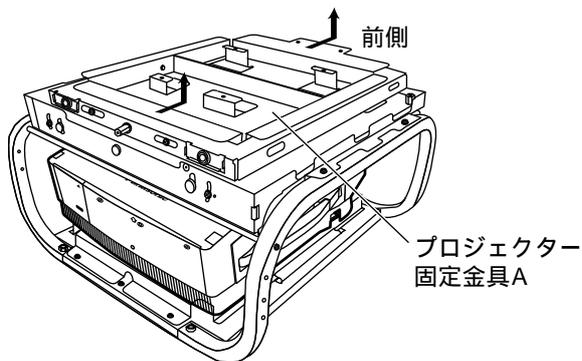
2. 上側プロジェクターの取り付け



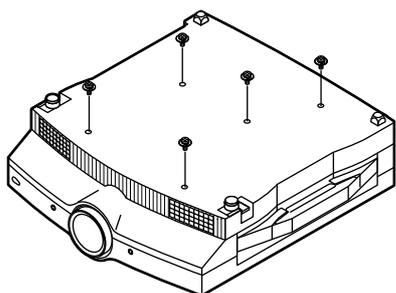
プロジェクター固定金具 A の固定ねじ (4 本) をはずす。



前後位置調整ボルトをプロジェクター固定金具 A からはずれるまで左に回す。

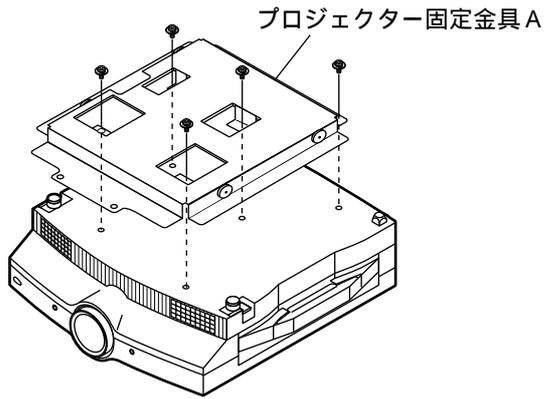


プロジェクター固定金具 A を本体金具の前側へスライドさせ、上方向へ持ち上げて取りはずす。

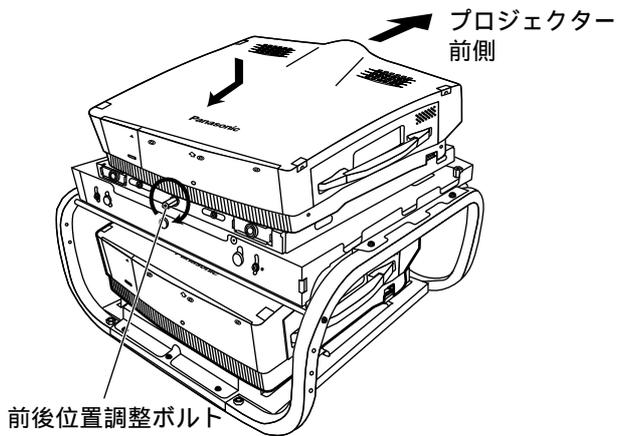


柔らかい布などの上に液晶プロジェクターの底面を上向きにして置き、座金組み込みねじ 5 本を取りはずす。

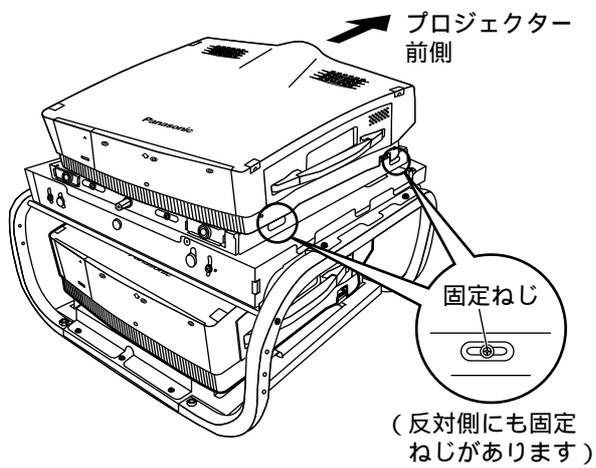
お願い 取りはずした座金組み込みねじは大切に保管いただき、元の仕様に戻すときは液晶プロジェクターへ取り付けてください。



液晶プロジェクター底面にプロジェクト固定金具 A を図のように置き、付属の座金組み込み六角ボルト (M6 × 12) 5 本で固定する。



液晶プロジェクターを取り付けたプロジェクト固定金具 A を、 と逆の手順で本体金具へ戻し、前後位置調整ボルトを右に回して取り付ける。



手順 で取りはずしたプロジェクト固定金具 A の固定ねじ (4 本) で固定する。

プロジェクターの調整のしかた

1. 下側プロジェクターの調整

下側プロジェクターの調整を以下の手順にしたがって行ってください。

液晶プロジェクターに同梱されている取扱説明書の手順にしたがって、液晶プロジェクターを投写状態にする。レンズセンターとスクリーン面が直角になるように投写画面の位置とサイズを調整する。(4ページを参照ください)

本体金具調整脚で、画面の歪みや傾きを調整する。

液晶プロジェクターのズームとフォーカスを調整する。(液晶プロジェクター取扱説明書の33ページを参照ください)

液晶プロジェクターの投写画面の高さ位置を調整する。(液晶プロジェクター取扱説明書の34ページを参照ください)

上記の調整を繰り返し行って合わせる。

2. 上側プロジェクターの調整

調整した下側プロジェクター投写画面に、上側プロジェクターの投写画面を合わせます。

上側プロジェクターの調整を以下の手順にしたがって行ってください。

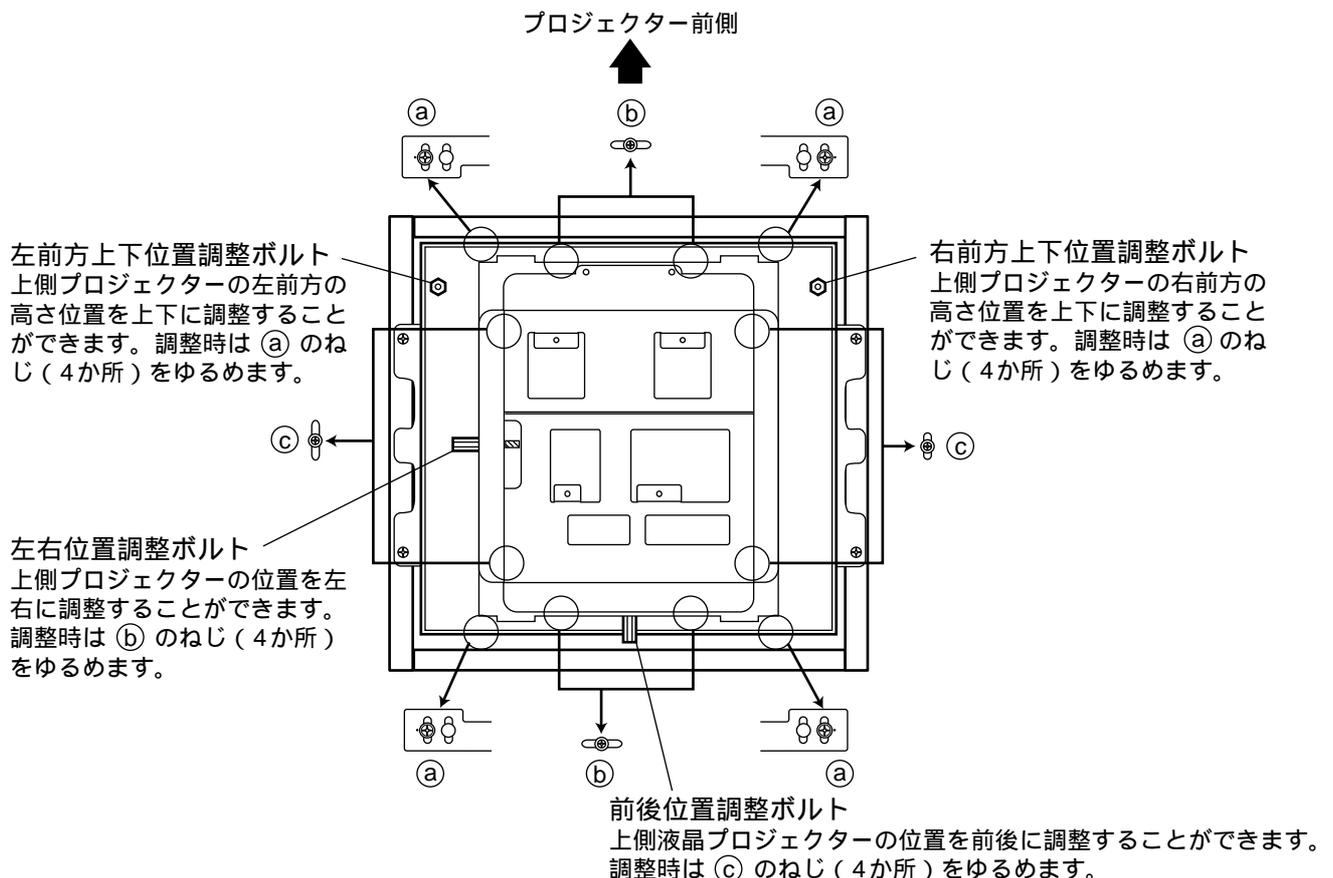
準備

下図で示した位置にある固定ねじが、長穴(ねじ穴)に対してセンターになるように、各固定ねじと調整ボルトを調整する。

上側プロジェクターと下側プロジェクターのID設定を変更し、上側プロジェクターのみをリモコンで操作できるようにする。

(ID設定は液晶プロジェクターに同梱されている取扱説明書の36ページを参照ください)

液晶プロジェクターに同梱されている取扱説明書の手順にしたがって、液晶プロジェクターを投写状態にする。クロスハッチパターン信号を入力する。



プロジェクターの調整

レンズセンターとスクリーン面が直角になるように投写画面の位置とサイズを調整する。

ズームとフォーカスを調整する。(液晶プロジェクター取扱説明書の33ページを参照ください)

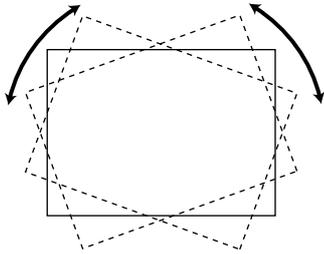
投写画面の高さ位置を調整する。(液晶プロジェクター取扱説明書の34ページを参照ください)

上記の調整を繰り返し行なって合わせる。

デュアル金具の調整

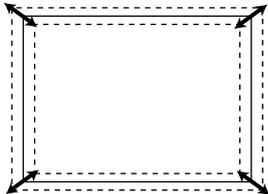
上側プロジェクターの投写映像が左上下または右上下に傾いている場合

固定ねじ①(前後各2か所)をゆるめ、左前方上下位置調整ボルト・右前方上下位置調整ボルトで金具を動かす、映像が傾かない位置に調整する。



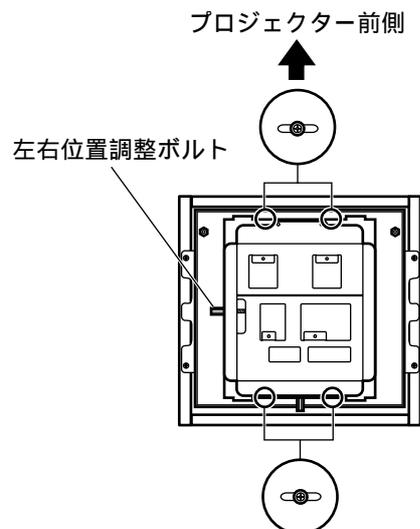
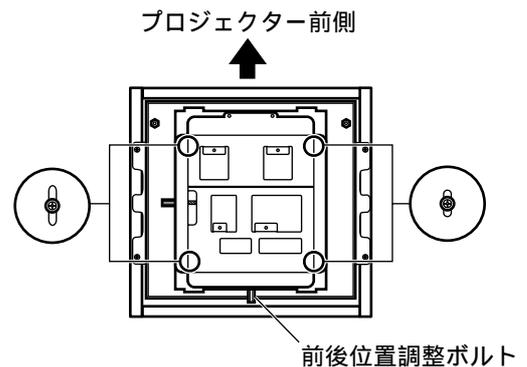
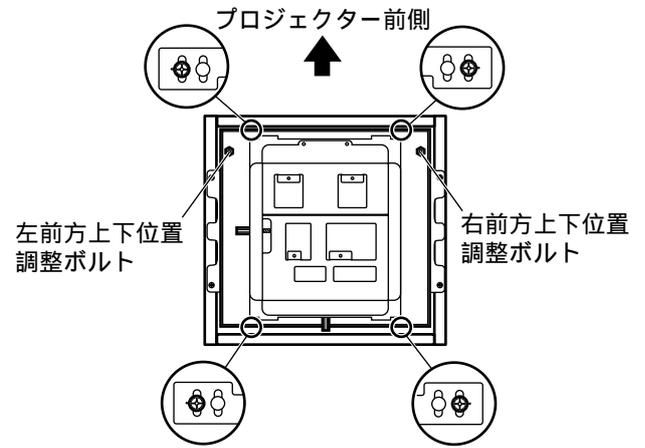
上側プロジェクターの投写画面サイズが合っていない場合

固定ねじ②(左右各2か所)をゆるめ、前後位置調整ボルトで金具を動かす、投写画面サイズを調整する。



上側プロジェクターの投写画面が左または右にずれている場合

固定ねじ③(前後各2か所)をゆるめ、左右位置調整ボルトで金具を動かす、スクリーンセンターに合うように調整する。



手順 ~ を繰り返し行なって合わせる。

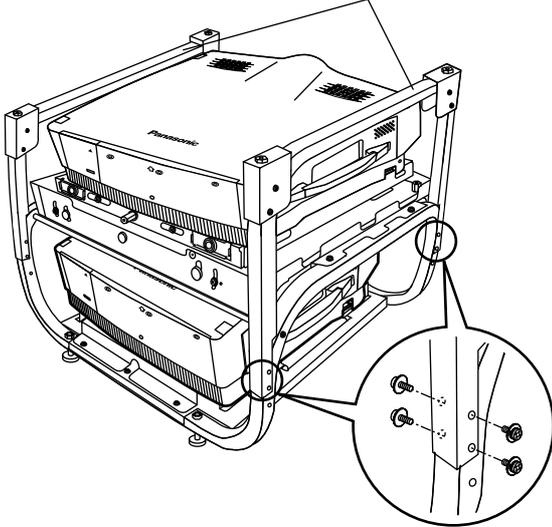
調整後、ゆるめた各固定ねじをしっかりと固定する。

設定を変更していた上側プロジェクターと下側プロジェクターのIDを元に戻す。

使用する信号を入力して、ずれがないか確認する。ずれている場合はプロジェクターの画像位置調整を行なってください。(液晶プロジェクター取扱説明書の34ページを参照ください)

反転設置のしかた

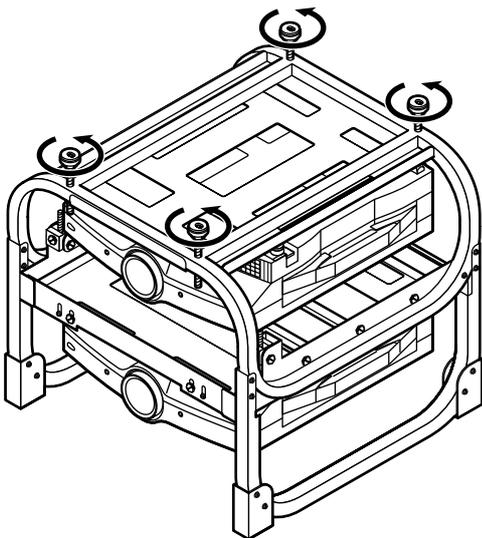
反転設置用アーム金具



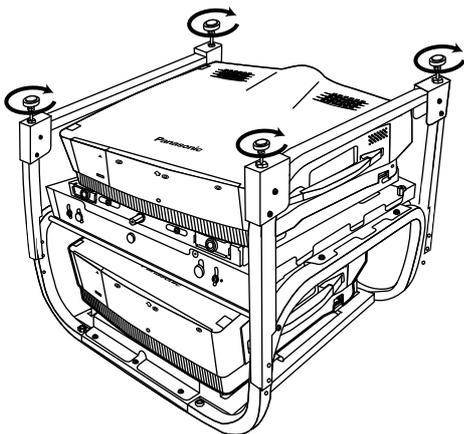
反対の反転設置用アーム金具も
同じように固定する

付属の反転設置用アーム金具を本機の左右へ組み合わせる。

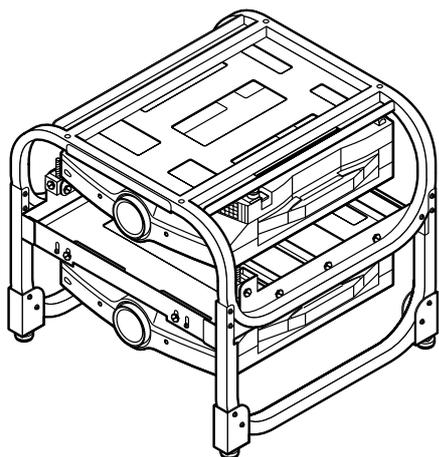
付属の座金組み込みねじ (M4 × 10) 16 本で固定する。



毛布など柔らかい布の上に液晶プロジェクターを取り付けた本機を反転させ、本体金具調整脚 (4 本) が本機からはずれるまで左に回す。



本体金具調整脚を取りはずした後、本機を通常設置状態の向きに戻し、本体金具調整脚 (4 本) を反転設置用アーム金具へ右に回して取り付ける。



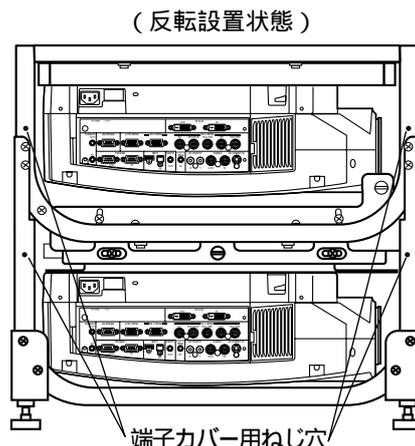
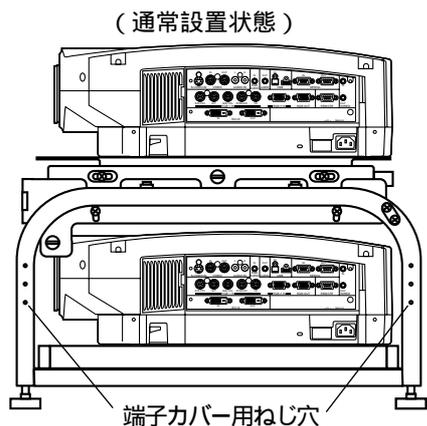
再度、本機を反転設置状態にして、設置場所に移動する。

液晶プロジェクターに同梱されている取扱説明書の手順にしたがって、液晶プロジェクターを投写状態にし、投写画面がずれていないことを確認する。画面がずれている場合は、その状態で調整を行ってください。

投写方式を変更する。液晶プロジェクターに同梱されている取扱説明書(34ページ)を参照に投写方式を切り換えてください。

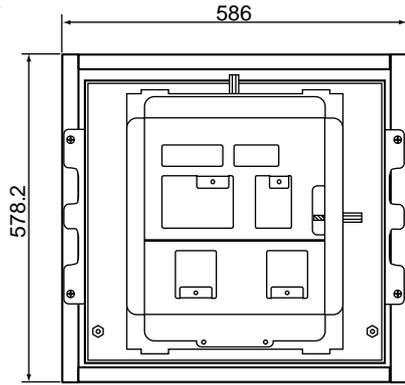
端子カバー用ねじ穴について

本機の右側面(本体、反転設置用アーム金具)には液晶プロジェクターの接続端子、接続ケーブルのカバーを取り付けるねじ穴を設けています。カバーはお客様が準備していただきご利用ください。

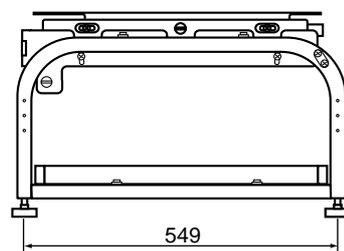
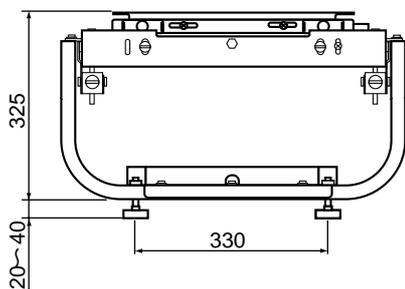


外形寸法図

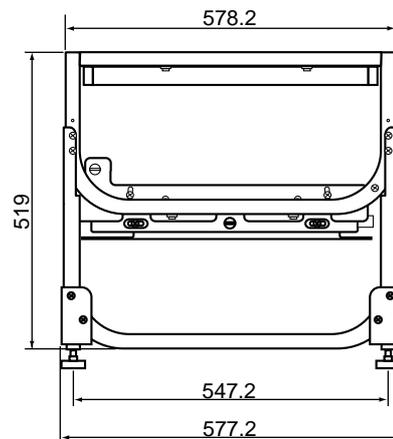
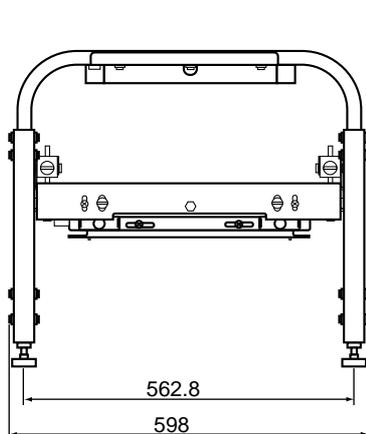
■ 通常設置



単位：mm



■ 反転設置



仕様

組み立て外形寸法 (プロジェクターを除く)	通常設置状態	横幅 586 mm	高さ 345 ~ 365 mm	奥行 578.2 mm
	反転設置状態	横幅 598 mm	高さ 539 ~ 559 mm	奥行 578.2 mm
質量 (プロジェクターを除く)	通常設置状態	26.5 kg		
	反転設置状態	30.5 kg		

M0401-2122

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161